

ポコ・ア・ポコ

NO81

2007年10月発行

川口自主夜間中学（自主学習会）

金子☎090-1843-1082

題名はスペイン語 一歩ずつという意

<http://members.jcom.home.ne.jp/kokorow>

—埼玉には、どうしても公立中学校夜間学級が必要です—

埼玉に夜間中学を作る会・川口自主夜間中学

『22周年集会』

- ☆日 時 10月14日(日) 14:00 (開場13:30) ~ 17:00
☆場 所 かわぐち市民パートナーステーション (教室と同じ場所)
☆内 容 第一部 「作る会と自主夜間中学、一年間の報告」
第二部 埼玉の夜間中学運動を考える『シンポジウム』
☆資料代 500円

野川義秋 (火曜日スタッフ)

§ 『22周年集会』って何？

この自主夜間中学で何年も勉強している人やスタッフとして関わっている人は、この集会のことがすぐに分かると思います。しかし、通うようになって期間が短い人は、何のために行なうのだろうと疑問に思うかも知れません。

私達は、川口自主夜間中学を運営しながら、埼玉県内に公立の夜間中学校を設立する運動も続けています。それが、「埼玉に夜間中学を作る会」の役割です。その運動を始めてから今年で22年になり、毎年秋のこの時期に集会を行なっています。その目的は、一年間の勉強や活動をふり返り、これからのことを話し合う機会にするためです。

§ 今年、どのような内容？

第一部は、川口自主夜間中学と埼玉に夜間中学を作る会が、どのような勉強や活動をしてきたかを報告し、今後の方向性をみんなで確認しあう内容です。

第二部は、今までは講演やコンサートなどの色々なイベント（催し物）を行なってきましたが、今年は、これから先にどのような運動を実行すれば、公立夜間中学校を設立することができるかを話し合います。

シンポジウムには、埼玉から東京の公立夜間中学校に通った三浦さんや、公立夜間中学校の関本先生・近藤先生が来て話して下さいます。

§ 生徒・スタッフの皆さん、参加を待っています！

埼玉には中学校を卒業していないために、困っている人がまだまだたくさんいます。ですから、公立夜間中学校をどうしても作る必要があります。そのことを、10月14日、みんなで話し合ひましょう。参加を待っています。

10・11月予定

	火曜日 (かわぐち市民パートナーステーション)					金曜日 (栄町公民館)			
10月	2日	9日	16日	23日	30日	5日	12日	19日	26日
11月	6日	13日	20日	27日		2日	9日	16日 休み	30日

22周年集会に
参加を
生徒さんも参加し
ましょう。

スタッフ会議 (10月26, 30日)

8時より行います。生徒さんも時間がありましたら参加してください。

川口自主夜間中学の皆さんへ

町田高之

前略

大変、御無沙汰致しております。

いつもお世話になり誠に有難う御座います。

私もこのところ「夜間中学」に出席できず、申し訳御座いません。

現在は、今まで通り食品倉庫で勤務している一方で「義肢装具」等の知識と少しずつ勉強しておりますが、始めていることばかりで、かなり苦勞をしております。

「職業」としては、大変難しい事と「覚悟」を痛感をしておりますが、一生の課題として役立てればと励んでおります。

この仕事をするには、「2足のわらじ」と言う方法で、他の仕事を持って勤務先を掛け持ちすることを視野に入れております

先日、出席の際に、私が「ノートパソコン」を持参したときに、先生からご指導を頂いたことは大変大助かりでした。

私も「自主夜間中学」に出席できる日があれば、皆さんと一緒に勉強したいです。その為にも「授業内容」の準備が必要です。

「銀河通信」を頂いた時、皆さんが「上野動物園」にいらっしやった事や「学校」の映画を上映するというのを拝読致しました。とても楽しみにしております。

又、「川口自主夜間中学」に出席したいと希望しております。